

第 588 回：論文執筆の取り組み方（3 回目）（MS）

みなさんこんにちは、火曜日担当の MS です。今回の LA 通信も、引き続き「論文執筆の取り組み方」について、とくに先行研究の探し方についてお話します。前回、論文のトピックとテーマを決めましたが、それだけでは論文は書けません。というのも、先行研究を確認しないと、これまでにどのような議論がされてきて、どこまでが半明したかが分からないからです。その場合、自分の研究がなぜ重要で、どういった点で新しいのか（新規性があるのか）が主張できません。つまり、先行研究の調査は論文の質と意義に直結します。ですので、論文を書き始める際には、先行研究の調査が必要不可欠です。

先行研究を探す方法として、普段は本とインターネットの両方を使って調べるようにしています。

まず、本の利点は、網羅的な知識を得られることです。欠点は、全てを読むのは時間がかかることと、必ずしも知りたい情報が得られる保証がないことです。私が卒業論文を執筆した際は、神戸市外国語大学図書館をおもに利用しました。オンラインまたは図書館内のパソコンで蔵書検索ができるので、関心のあるトピックの本がどこに所蔵されているのか確認できます (https://library.kobe-cufs.ac.jp/opac/opac_search/)。また、図書館にない本を取り寄せたり、その一部を複写したりもできます (<https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/guide/ill/index.html>)。

次に、インターネットを使う方法です。利点は、素早く知識を得られることです。欠点は、情報の信頼性をとくに問う必要があることです（どんな媒体でも必要です）。以下に、おすすめのウェブサイトとリンクを提示します。

- 幅広く文献を探したいとき: Google Scholar (<https://scholar.google.com/>)
- 日本語文献を探したいとき: CiNii Research (<https://cir.nii.ac.jp/>)
- 英語文献を探すとき: JSTOR (<https://www.jstor.org/>)
- 分析するテキストを探したいとき: Project Gutenberg (<https://www.gutenberg.org/>) と 青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>)
- 図書館の文献を探したいとき: 国立国会図書館デジタルコレクション (<https://dl.ndl.go.jp/>)

参考までに、神戸市外国語大学図書館のデータベースを共有いたします (<https://library.kobe-cufs.ac.jp/opac/myopac/gateway/>)。目的、ジャンル、タイトル別検索ができて便利なので、ぜひ使ってみてください。それでは。